

ポケモンの 世界から

ポケモンの世界からの
メッセージ。

世界を救ったあなたへ

まずはじめに。僕らの住む世界は、ポケモンというそれぞれ個々に能力を持った生き物がいて、誰もがポケモンと幸せに生活している...といった事はないという事実からこの手紙に記したいと思う。いや、実際にはそういう過去（誰もがポケモンが幸せに生活する世界）、数百年前にはそういう世界が成り立っていたという。

だが、少なくとも今の僕らの世界は違う。今の人（厳密には、政治家を筆頭とする都会に住む人）はポケモンをただの道具としか考えていない。弱肉強食という間違っただけの理念の現れだ。僕らの科学力は進化しすぎたと思う。神々と呼ばれたポケモンをとらえ、洗脳し、思うがままに利用するまでに至ってしまったのだ。そういえば、僕の町...シンオウ地方のミオシティの図書館の歴史書に、約200年前、時と空間を司ると言われるポケモンを利用しようとした男がいるらしい。それを止めたのが"誰か"なんだけど、その"誰か"の話は少しあとにする事にしよう。今、この世界は戦争のまっただ中だ。イッシュ地方とカントー地方の連合軍とシンオウ地方とジョウト地方の同盟軍の戦いである。ハウエン地方はというと戦場の舞台であり東地区が連合軍。西地区が同盟軍の占領下にある。両軍それぞれハウエンの神々（グラードン同盟軍、カイオーガ連合軍）をすでに捕獲済み。残るレックウザの取り合いとなっている訳だ。これは母親にきいた話なのだが、今度の月曜日、同盟軍は戦場にディアルガ（シンオウ地方の時を司るポケモン）を投入するという話だ。この情報はガセかもしれないが、僕みたいな、戦争に関わりのない一般市民が知っている訳だから、当然連合軍もそれに対抗すべく伝説のポケモンの投入準備をはじめていると思う。これはつまり...どちらが勝とうにも今度の月曜日の23:59にはハウエン地方の消失を意味するという事になる...。4000万というポケモンの命が失われるという事になる。

だから僕は考えた。そしてたどりついたのが先ほど言った歴史書の英雄として讃えられている"誰か"だ。

不思議な事にこの"誰か"の性別も...名前も...出身地も記されていないという事。

僕は気になってこの"誰か"について調べてみた。そうしたらどうだろう。他の地方の歴史書にも英雄と讃えられた"誰か"が存在していた。しかしどの地方の歴史書にもその"誰か"の手がかりはなかった。

どうしてもおかしい。どの地方の"誰か"もその地方をすべて歩き旅をし、たくさんの人と関わってきたはずなのに、性別も名前も誰も覚えていない。そんな事がありえるのか？

そんな時、ニュースでパルキア（空間を司るシンオウ地方の神。ディアルガとは対の存在）の実験の結果から異世界の存在が確認されたという題材が取り上げられていた。僕はピンときた、もしその"誰か"が異世界から来た人間だとすれば？それなら説明がつく。よくあるSFの話の過去にとんだ主人公のように、過去で何か成し遂げたとしても、その成し遂げた事は変わらないが、誰がしたのか人々は忘れてしまう。"世界がバランスを取る為に"この理論は実際に僕らの世界では確立されているため完璧な証明である。決して憶測ではないよ？確か...トレステル現象だけかな...。そしてもう一つ分かった事が今この手紙を読んでいる君たちの世界と僕らの世界は"時間の流れが違う"と言う事。こっちの方が時間の流れが速いんだ。それもケタ違いに。まあ難しい話

はすつとばして率直に言うと、"君たちの世界には僕らの世界を救った『誰か』がいるということになる"そしてこの手紙を読んでいるのは間違いなく僕らの世界を幾度となく救った"誰か"のはずなんだ。これは絶対だ。鉄板の賭けだよ。ギャンブルはした事ないけどね。君は...僕らの世界で誰よりもポケモンと深い絆を築きあげ、世界を救ってきた。

頼む。お願いだ。もう一度僕らの世界を救ってくれ！

ポケモンの世界から

<http://p.booklog.jp/book/68590>

著者：うよ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/uyo-rate/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/68590>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/68590>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ